



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 プレサンスコーポレーション
 コード番号 3254 URL <https://www.pressance.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山岸 忍

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 土井 豊

TEL 06-4793-1650

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	125,383	3.3	23,669	8.2	23,398	8.5	15,660	10.0
2019年3月期第2四半期	121,350	83.2	25,777	134.6	25,583	138.5	17,402	140.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 15,619百万円 (10.3%) 2019年3月期第2四半期 17,408百万円 (140.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	252.10	243.53
2019年3月期第2四半期	283.21	271.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	313,251	108,980	34.2
2019年3月期	301,942	94,618	30.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 107,048百万円 2019年3月期 92,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.50		23.00	40.50
2020年3月期		26.00			
2020年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,219	30.3	32,531	20.0	31,429	18.5	21,520	17.6	346.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	63,043,721 株	2019年3月期	62,941,385 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	863,744 株	2019年3月期	863,744 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	62,118,478 株	2019年3月期2Q	61,445,940 株

(注)株式給付型ESOP導入に伴い、信託口が保有する当社株式を期末自己株式数に含めております(2020年3月期2Q 313,980株、2019年3月期313,980株)。また、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期2Q 313,980株、2019年3月期2Q 313,980株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに即日掲載しています。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10
(2) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが属する不動産業界におきましては、三大都市圏及び地方中枢都市での公示地価の上昇や、建築工事費の上昇等の懸念材料はあるものの、住宅ローン金利が引き続き低い水準で推移していること、住宅ローン減税制度等の住宅取得支援策が継続して実施されていること等から景況は安定して推移しました。また、都市の生活利便性を求めて、人口は都市中心部へ流入する傾向にあり、分譲マンションの需要は引き続き堅調に推移しております。

このような環境の下、当社は、主要販売エリアである近畿圏、東海・中京圏及び地方中枢都市の中心部において事業用地を取得することに努め、主要都市中心部への分譲マンション供給に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高125,383百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益23,669百万円(同8.2%減)、経常利益23,398百万円(同8.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益15,660百万円(同10.0%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比で増収減益となっておりますが、2019年5月10日に発表した増収増益の通期予想に対して順調に進捗しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、ファミリーマンション「プレサンスロジェ シリーズ」のプレサンスロジェ大垣駅前(総戸数137戸)やワンルームマンション「プレサンスシリーズ」のプレサンスTHE神戸(総戸数235戸)等の販売が順調に推移いたしました。その結果、ワンルームマンション売上高43,462百万円(2,161戸)、ファミリーマンション売上高52,764百万円(1,402戸)、一棟販売売上高9,965百万円(672戸)、ホテル販売売上高3,050百万円(129戸)、その他住宅販売売上高1,815百万円(101戸)、その他不動産販売売上高10,177百万円、不動産販売附帯事業売上高719百万円となり、不動産販売事業の合計売上高は121,955百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は23,276百万円(同8.2%減)となりました。

なお、当社グループの主力事業であるマンション販売は、マンションの竣工後に引渡しが行われる際に売上高が計上されるため、用地仕入・開発計画・工期により四半期毎の経営成績に偏向が生じる場合があります。

(その他)

その他の不動産賃貸事業等におきましては、自社保有の賃貸不動産が順調に稼働いたしました。その結果、その他の売上高は3,427百万円(前年同期比20.2%増)、セグメント利益は1,124百万円(同7.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて11,654百万円増加し、292,246百万円(前期末比4.2%増)となりました。その主な要因は、積極的に開発用地を取得したこと等により、たな卸資産が9,253百万円増加したこと等であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて345百万円減少し、21,005百万円(前期末比1.6%減)となりました。その主な要因は、関係会社長期貸付金が443百万円増加したのに対して、自社保有物件を販売用不動産に振替えたことなどにより賃貸不動産が850百万円減少したこと等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて3,052百万円減少し、204,271百万円(前期末比1.5%減)となりました。その主な要因は、未払法人税等が2,455百万円増加したのに対して、金融機関からの借入金3,168百万円減少したこと、マンションの引渡しに伴い前受金が2,922百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて14,361百万円増加し、108,980百万円(前期末比15.2%増)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金が14,225百万円増加したこと等であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ1,574百万円増加し、40,974百万円(前期末比4.0%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は7,129百万円(前年同期は18,430百万円の増加)となりました。

これは主に、積極的に開発用地を取得したこと等によりたな卸資産が8,645百万円増加したこと、法人税等を5,391百万円支払ったこと、マンションの引渡しに伴い前受金が2,911百万円減少したこと等により、資金が減少したのに対して、税金等調整前四半期純利益が23,398百万円あったこと等により資金が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,023百万円(前年同期は1,253百万円の減少)となりました。

これは主に、定期預金の預入により500百万円、関係会社への貸付により454百万円資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は4,527百万円(前年同期は3,020百万円の増加)となりました。

これは主に、金融機関からの借入金が純額で3,168百万円減少したこと、配当金を1,434百万円支払ったことにより資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力事業であるマンション販売事業は、顧客への引渡しをもって売上が計上されるため、四半期ごとに当社グループの業績を見た場合、物件の引渡し時期に伴い業績に偏重が生じる傾向があります。なお、当第2四半期連結累計期間の業績は、順調に推移しており、現時点においては2019年5月10日発表の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,990	44,064
売掛金	64	141
販売用不動産	9,603	12,651
仕掛販売用不動産	225,302	231,506
原材料及び貯蔵品	278	279
その他	3,352	3,602
流動資産合計	280,591	292,246
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	15,251	14,400
その他(純額)	596	598
有形固定資産合計	15,848	14,999
無形固定資産	332	302
投資その他の資産	5,170	5,702
固定資産合計	21,350	21,005
資産合計	301,942	313,251
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117	808
電子記録債務	7,085	7,462
短期借入金	9,920	7,465
1年内返済予定の長期借入金	44,547	39,971
未払法人税等	5,417	7,872
前受金	11,503	8,580
賞与引当金	218	243
その他	4,106	3,556
流動負債合計	82,916	75,960
固定負債		
新株予約権付社債	3,500	3,500
長期借入金	120,119	123,981
役員退職慰労引当金	623	—
株式給付引当金	146	176
その他	17	652
固定負債合計	124,407	128,310
負債合計	207,323	204,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,404	2,476
資本剰余金	3,406	3,478
利益剰余金	87,777	102,002
自己株式	△887	△887
株主資本合計	92,699	107,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	15	△23
その他の包括利益累計額合計	15	△20
新株予約権	123	155
非支配株主持分	1,779	1,775
純資産合計	94,618	108,980
負債純資産合計	301,942	313,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	121,350	125,383
売上原価	86,788	90,929
売上総利益	34,562	34,453
販売費及び一般管理費	8,784	10,783
営業利益	25,777	23,669
営業外収益		
受取利息	0	11
受取配当金	0	0
仕入割引	—	0
持分法による投資利益	—	23
為替差益	151	—
受取手数料	40	28
違約金収入	31	60
その他	36	60
営業外収益合計	261	186
営業外費用		
支払利息	331	435
持分法による投資損失	81	—
為替差損	—	20
支払手数料	28	1
その他	13	0
営業外費用合計	454	457
経常利益	25,583	23,398
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	25,582	23,398
法人税等	8,182	7,741
四半期純利益	17,400	15,656
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,402	15,660

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	17,400	15,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	6	△48
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10
その他の包括利益合計	7	△36
四半期包括利益	17,408	15,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,409	15,623
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,582	23,398
減価償却費	234	239
のれん償却額	50	50
受取利息及び受取配当金	△1	△12
支払利息	331	435
為替差損益(△は益)	△151	18
持分法による投資損益(△は益)	81	△23
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,472	△8,645
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,996	1,153
株式報酬費用	—	60
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	25
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	26	△623
株式給付引当金の増減額(△は減少)	28	30
固定資産売却損益(△は益)	0	—
固定資産除却損	0	—
前受金の増減額(△は減少)	△6,035	△2,911
未収消費税等の増減額(△は増加)	669	55
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,007	△439
その他	484	143
小計	22,788	12,954
利息及び配当金の受取額	1	12
利息の支払額	△329	△445
法人税等の支払額	△4,029	△5,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,430	7,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△43	△69
固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
関係会社貸付けによる支出	△253	△454
関係会社出資金の払込による支出	△455	—
定期預金の預入による支出	△500	△500
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,253	△1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	48,008	37,142
長期借入金の返済による支出	△39,291	△37,856
株式の発行による収入	167	75
配当金の支払額	△1,017	△1,434
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,892	△2,454
自己株式の処分による収入	46	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,020	△4,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,224	1,574
現金及び現金同等物の期首残高	29,314	39,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,538	40,974

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	118,498	118,498	2,851	121,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	118,498	118,498	2,851	121,350
セグメント利益	25,350	25,350	1,045	26,395

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、家賃等債務保証業、損害保険代理事業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25,350
「その他」の区分の利益	1,045
全社費用(注)	△617
四半期連結損益計算書の営業利益	25,777

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	121,955	121,955	3,427	125,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	121,955	121,955	3,427	125,383
セグメント利益	23,276	23,276	1,124	24,400

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、家賃等債務保証業、損害保険代理事業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,276
「その他」の区分の利益	1,124
全社費用(注)	△731
四半期連結損益計算書の営業利益	23,669

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注の状況

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	1,575	142.0	30,569	157.1	1,439	239.0	27,891	264.5
	ファミリー マンション	936	87.3	33,963	85.2	1,441	58.9	52,385	55.3
	一棟販売	811	93.9	10,983	89.3	1,448	120.9	20,385	124.7
	ホテル販売	840	344.3	20,597	490.6	694	106.0	19,080	164.4
	その他住宅 販売	40	114.3	547	54.0	11	47.8	189	26.6
	その他不動産 販売	—	—	166	7.9	—	—	—	—
報告セグメント計		4,202	126.3	96,826	122.6	5,033	102.2	119,932	89.5

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	1,471	93.4	27,812	91.0	1,548	107.6	28,492	102.2
	ファミリー マンション	1,157	123.6	43,085	126.9	1,878	130.3	67,908	129.6
	一棟販売	893	110.1	15,634	142.3	2,125	146.8	35,096	172.2
	ホテル販売	141	16.8	3,595	17.5	1,066	153.6	26,254	137.6
	その他住宅 販売	126	315.0	2,558	467.6	44	400.0	1,200	634.0
	その他不動産 販売	—	—	1,977	1,191.1	—	—	1,000	—
報告セグメント計		3,788	90.1	94,663	97.8	6,661	132.3	159,952	133.4

(注) 1. 本表におきまして「受注高」は「契約高」と読み替えております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。

4. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部を主にマンション販売業者に卸売する方法であります。

5. その他住宅販売とは、中古住宅流通事業、戸建分譲事業等、新築マンション以外の住宅の販売であります。

6. その他不動産販売とは、商業用店舗、開発用地等の住宅以外の不動産の販売であります。

7. 前第2四半期連結累計期間のその他不動産販売の契約高は、開発用地に関するものであります。

当第2四半期連結累計期間のその他不動産販売の契約高は、開発用地(1,335百万円)及びオフィスビル(641百万円)に関するもので、契約残高は開発用地に関するものであります。

8. 契約高及び契約残高については、計画変更等により数量(戸)が変動する可能性があります。

(2) 販売の状況

セグメント の名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)				当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (百万円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	1,638	126.0	29,780	133.4	2,161	131.9	43,462	145.9
	ファミリー マンション	1,639	241.0	61,985	259.5	1,402	85.5	52,764	85.1
	一棟販売	503	61.1	7,392	55.3	672	133.6	9,965	134.8
	ホテル販売	980	1,361.1	17,625	1,673.4	129	13.2	3,050	17.3
	その他住宅 販売	37	194.7	484	93.7	101	273.0	1,815	374.5
	その他不動産 販売	—	—	166	7.9	—	—	10,177	6,130.8
	不動産販売 附帯事業	—	—	1,062	213.5	—	—	719	67.6
報告セグメント計		4,797	165.6	118,498	185.8	4,465	93.1	121,955	102.9
その他		—	—	2,851	115.8	—	—	3,427	120.2
合計		4,797	165.6	121,350	183.2	4,465	93.1	125,383	103.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。
 3. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部を主にマンション販売業者に卸売する方法であります。
 4. その他住宅販売とは、中古住宅流通事業、戸建分譲事業等、新築マンション以外の住宅の販売であります。
 5. その他不動産販売とは、商業用店舗、開発用地等の住宅以外の不動産の販売であります。
 6. 不動産販売附帯事業とは、床コーティング等引渡後オプション工事、及び不動産売買の仲介手数料等であります。
 7. 前第2四半期連結累計期間のその他不動産販売の売上高は、開発用地に関するものであります。
 当第2四半期連結累計期間のその他不動産販売の売上高は、開発用地(9,535百万円)とオフィスビル(641百万円)に関するものであります。

※ 当第2四半期連結累計期間のファミリーマンションの売上高は、前第2四半期連結累計期間と比べて減少しております。これは、前第2四半期連結累計期間において、大型物件であるプレサンスレジェンド琵琶湖やその他のファミリーマンションの竣工・引渡しが多かったためであります。